



AI時代の“幸せ”を 追求する働き方

ほそじま・まさのり／2002年に入社後、技術本部ソフトウェア技術部、通信システム部、システム技術部などでシステム開発や技術戦略に携わる。長年にわたり技術部門の中核を担い、2024年に技術本部副本部長、2026年に同本部執行役員副本部長に就任。AIやDXの実務に精通し、現場に寄り添った技術活用と人材育成に取り組んでいる。

株式会社 HBA
技術本部 執行役員副本部長

細島 匡智氏

株式会社 圓窓 代表取締役

澤 円氏

さわ・まどか／元・日本マイクロソフト株式会社業務執行役員。マイクロソフトテクノロジーセンターのセンター長を2020年8月まで務めた。2019年に株式会社圓窓（えんそう）を設立。DXやビジネスパーソンの生産性向上、サイバーセキュリティや組織マネジメントなど幅広い領域のアドバイザーやコンサルティングなどを行っている。複数の会社の顧問や大学教員、Voicyパーソナリティなどの肩書を持つ。

「IT」で「幸せ」に挑む。このスローガンのもと、ITソリューション企業として全国各地にサービスを提供する株式会社HBA（本社・札幌市中央区）。10月9日（金）、札幌プリンスホテル 国際館パミールにて「道新BIZ HBAソリューションフォーラム2026」（主催 北海道新聞社 協賛：株式会社HBA）を開催します。本フォーラムのセミナーに登壇するゲストの一人で、多くの組織変革を支援している、株式会社圓窓 代表取締役澤円氏と、株式会社HBA 技術本部 執行役員副本部長 細島 匡智氏が対談を行いました。

起業家精神で アウトプットし続ける

— AIの進化で、仕事や組織はどのように変わっていくか？

澤 生成AIが登場して「仕事が奪われる」と言われていますが、確かに自動化できる作業はAIに吸収されるでしょう。これからの時代、AIで仕事を効率化させ、得た時間を使って自分の頭で考え、アウトプットできる企業が生き残ると思います。

テクノロジーは「思考の外部化」であり、人間の不可能を可能にするために生まれたもの。例えば、人間が歩行よりも早く移動したいという欲求から、馬車から蒸気機関車へ、自動車や新幹線が生まれました。今、それらの技術を受け入れていない人はいないですよ。AIも同様で、AIが基盤になる時代はすぐそこまで来ています。

細島 共感します。ソフトウェア開発ではさまざまな工程がありますが、例えば、コーディングやテストはAIに任せて、スペシャリストとして自分の価値を出せる仕事に集中する方向にシフトしています。新たな挑戦としては、メーカー様からの依頼でエンタープライズシステムを作っていますが、その製造プロセスをAI中心のプロセスへ転換しようとしています。また、ローカルLLM※環境によって情報の安全性とセキュリティを確保しながら、生成AIを利用いただける法人向けサービスの提供も始めました。

澤 開発スキルは、AIの得意分野です。AI時代は開発そのものよりも、顧客を観察し、ニーズの一步先を読んで、ニーズとテクノロジーをつなげることが重要です。FDE（Forward Deployed Engineer）と呼ばれる、顧客の現場でAIなどを活用しながら課題解決まで担う次世代エンジニアが注目されていますが、今後ますます必要とされていくでしょう。

細島 顧客の潜在的なニーズの発掘ですね。

澤 発掘して、さらに発明することが大切です。ビジネスパーソン一人ひとりが「世の中を良くしたい」「面白いことがやりたい」という「起業家精神」をもって、仕事への向き合い方を根本から変えていく。そして、商品やサービス

自分がやりたいことを 利他的に行う

— AI時代に求められるマインドセットとは？

澤 すべてのビジネスは、ビジョンを掲げて、事業を通じて「社会貢献」をしています。例えば、マンモスがいたような遠く昔は、人間が食料を獲ることは命がけ。仕事は苦役だったと思いますが、現代はAIなどのテクノロジーが時間を生み出し、働きやすい環境を整えてくれます。苦手なことはAIに任せて、「自分がやりたい仕事」で「人の幸せ」を追求できる時代になったのです。

細島 当社の経営理念も「私たちHBAは、ITとHumanityの融合により、お客様と社会の幸せに貢献します。」です。仕事を通じて人や社会の幸せを追求することを大事にしていますが、AIによってその理念にぐっと近づくことができると思います。エンジニアはどうしても苦手な工程にも直面し時間を取られることがあります。これがAIをパートナーとして活用し、自分の得意や強みを活かせる環境を整え、真のスペシャリストを目指すことができると思います。

— 澤さんのユニークなキャリアについて。

澤 私は文系大学を卒業後、生命保険会社のIT子会社でプログラマーとして働き始めました。会社ではあまり役に立たない存在でしたが、



1995年、転職が訪れたのです。その年は、インターネットが日本で広く普及し始めたインターネット元年です。私はパソコンを購入し、ひたすらネットサーフィンを楽しんでいました。ネットはビジネスに使えるし、皆が言うのを聞いて、そこに商機があると感じました。私はインターネットに詳しくなり、1997年、マイクロソフト（現・日本マイクロソフト）へ転職。2008年頃から、ベンチャー企業を支援する「副業」も始めました。2020年に独立し、現在は年間2500回以上の講演を行い、多くの企業の顧問やアドバイザーを兼任し、大学の専任教員として人材育成もしています。私は興味の範囲が広く、いろんなものに目が行くので、今の働き方が合っていると感じています。

細島 澤さんの行動力や柔軟な思考、発想は本当にすごいと思います。

— 若手ビジネスパーソンへのメッセージ。

澤 これからは「役職」「肩書き」ではなく「名前」で仕事をする時代です。私はよく専門外の仕事をいただきますが、なぜ依頼があるかというと、自分のコンテンツを作りアウトプットをし続け、自分を知ってもらう機会を設けているからです。今後ますます「個の時代」になり、ビジネスパーソンも個の立ち方が問われるようになるでしょう。自分のやりたいことをわがままに追求し、行動は利他的に行う。すべてのビジネスの本質は「推し活」とも言えます。推し活のような利他的行動で互いに応援し合うと、皆が幸せになれる新たな仕事の扉が開いていくと思います。

細島 これからのAI時代では、どう発想するか、どう仕事を楽しむかが、人間としてどんな価値を発揮できるかが、ますます重要になっていくのではないのでしょうか。ぜひ変化をチャンスと捉えて、自身の強みを発見し磨いてほしいと思います。フォーラムでは、澤さんからAI時代の働き方についてさらに詳しくお話を伺うことができます。皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

道新BIZ HBA SOLUTION FORUM 2026

HBAソリューションフォーラム

北海道に、いま求められるITを。

2026.10.9 FRI 10:00-18:00

会場 札幌プリンスホテル 国際館パミール
札幌市中央区南3条西12丁目
札幌市営地下鉄東線「西11丁目駅」2番出口より徒歩約3分

ソリューション展示会

10:00~18:00
AI・DX・セキュリティ・GXなど
注目テーマが集結

AI・DX

自治体・官公庁/
業種ソリューション

セキュリティ

GX・地域課題解決

ロボット・ドローン・VR

セミナータイムテーブル

Session1
10:30-12:00

「AIにおける現場DXの未来」
吉野 哲 氏（株式会社HBA 取締役執行役員常務）
飯島 春樹 氏（パナソニックITS株式会社 代表取締役社長）



「AIがある世界であなたは働くか？」
澤 円 氏（株式会社圓窓 代表取締役）

Session2
13:00-14:30

「北海道のこれからを共創する、メディアとITの力」
白幡 一雄 氏（株式会社HBA 代表取締役執行役員社長）
三浦 辰治 氏（北海道新聞社 専務取締役営業統括本部長）



「『前例を突破する企画力』～“やりたい”を組織で実現するには～」
佐久間 宣行 氏（テレビプロデューサー）

Session3
15:30-17:00

「三笠市とHBAが描く、地域課題解決の可能性」
高橋 孝幸 氏（株式会社HBA 取締役執行役員常務）
西城 賢策 氏（三笠市長）



「挑戦と価値創造—世界・日本・北海道をつなぐ視点—」
中田 英寿 氏（株式会社JAPAN CRAFT SAKE COMPANY 代表取締役）

